

No.160
2015.3.18

響き

荘原コミュニティセンター報

発行／荘原コミュニティセンター

出雲市斐川町荘原3835

(電話)72-4600 (FAX)72-4602

荘原地区人権同和教育講演会

2/22
(日)

「まかともか」を生きる



主催 荘原地区人権同和教育推進協議会 (会長 深田 和美)

元島根県立松江東高校校長の中村清志先生を講師にお迎えして、教育への情熱と子どもへの愛情、親(大人)の務めなどについて、5つのキーワード「まかともか」でとても判りやすくお話をしていただきました。

会場内は、先生の話を知りたいという荘原地区や斐川町内の人、松江市など遠くからの参加もあり、会場は超満員となりました(約150人)。

子どものことで、親(大人)に何ができるのか? 「親ができることは、ほんの少しのこと。」ということから話が始まりました。

「いろいろな環境の中で、子どもたちは、親(大人)を見ながら育っていく。そのことが、子どもへの影響は、はるかに大きく、親としてできることは、ほんのわずかなことでしかありません。」この言葉で会場は、一気に気持ちが引き締まりました。多くの体験談やDVDによる事例を先生は紹介しながら、時には笑い声も交えて、大切な5つのキーワードにより、親(大人)としての心構えを話されました。参加者は、熱心にメモしたりして、耳を傾けて聞き入っていました。



ま

親としては、自分の人生をまっとうに生きること。このことが親にできる最大のことであり、子どもは、その親の背中を見て育っていく。

か

重ねること。子どもたちの目の前の姿に、子どもたちが生まれたときから育ってきた過去、これから歩む未来(将来)の姿を、「重ね合わせる」ことで、心に安定と余裕が生まれてくる。これから先、色々なことがある。目の前のできごと(現在)が全てではない。今、辛くとも、また、立ち上がる。

と

隣(となる)。人は、一人では生きられない。誰であっても、人生の途を歩むときには、寄り添い、支えてくれる隣人がいる。自分は無力であっても、色々な人によって助けられている。

も

物語る。生きること、死ぬことについて、相手の腹に収まるように、胸に落ちるように、納得できるように、相手が踏み出すことができるように、話をすること。

か

覚悟を決める。いつか人にいじめられたり、差別される立場になるかも知れない。その時、親は、逃げられない。子どもと向き合う覚悟を持つこと。子どもの心の心肺停止は、親のAED(救急医療機器)という「ものさし1本」で助けられる。「ものさし1本」が、親の覚悟である。

～感想～

Contact

20代女性 感動で涙が止まらず…本当に今日お話を聞けて良かったです。

30代女性 人にどう接するかよりもまずは自分がまっとうに優しく生きていこうと思います。そうすれば自然に人にも優しくなれると思います。同和教育という神に収まりきらない素敵なお話でした。

40代女性 私は私のままでいいんだ、まかともかで生きていけばそれを家族にしていけばいいんだ、と心が落ち着きました。

50代女性 何度も涙が出ました。先生のおはなしをもっと子育ての時に聴けたらどんなに良かったらと思うました。

70才男性 子育ての中で大人の役割の大切さを説かれ共感しました。

2/28
(土)

まちづくり講演会

自主企画事業

まちづくり部



「荒神谷遺跡 発掘30周年秘話」

荒神谷遺跡 発掘30周年



講師 荒神谷博物館副館長 平野芳英氏
出雲市環境部文化財課課長 宍道年弘氏

当日は、荒神谷博物館副館長の平野芳英氏と、当時の銅鐸・銅矛発掘調査担当の宍道年弘氏の対談の形で講演が行われました。

宍道氏が銅鐸を掘り出す際、道具が当たって銅鐸の存在に気が付いて焦ったこと、1号銅鐸と銅剣の茎に印された「×」は加茂岩倉遺跡と荒神谷遺跡独特のもので、この銅鐸を埋納した黒い泥や、銅剣の埋納坑の下にあった土坑の状況から、有機質を銅鐸に被せたり土坑に入れたりして「おまつり」をしたのではないかと、といったおもしろい説を提起されました。

また、荒神谷遺跡の周りには他にも遺跡がたくさんあり、その中の一つの西谷遺跡では、墨書土器が出土したり、農耕牛と思われる蹄跡が検出されていて、官衙(かんが)のようなものがあったのではないかと考えられ、弥生時代から平安時代にかけて大事な場所であり、もしかしたら荘原の私たちの先祖につながる人々が生活していたのでは…と想像を駆り立てられるお話もありました。

この日およそ60人のたくさんの皆さんにお越しいただき、博物館の展示を観覧されたあと講演会を熱心に聴講され、そのあと遺跡の発見現場に見学に行かれた方もおられました。お二人の講演はとても分かりやすくおもしろい内容で、皆さんうなずいたり笑ったりしておられ、楽しい講演会となりました。

ふれあい交流部

2/27
(金)

ウォーキングクラブ (荘原地区健康づくりの会)



今年に入ってから天候が悪く中止が多かったのですが、当日もあいにくの天気とはなりました。しかし、頑張って学頭の永徳寺に向かいました。お寺には県指定文化財の涅槃図が展示しており、説明を聞いて、お茶をいただき、外の天候にも負けず歩きました。

3月は27日(金曜日)の9時、荘原コミセン出発で歩きます。どなたでも参加できます。

一緒に歩きませんか!!

2/15
(日)

そばづくり講習会

自主企画事業

日曜日の朝、賑やかな声と共に集会室でそばうち講習会をしました。1歳から少し高齢者(?)まで約20名で真剣にそば粉を捏ねたり、伸ばしたりしました。包丁でゆっくり丁寧に切りましたが、なぜか太いのあり細いのありの麺ができました。うちたてのそばをスタッフのおもてなしの筑前煮、野菜の浅漬けと一緒にいただきました。荘原の町にそば打ち名人が増えることと思います。たのしみ!!



1/23
(金)

おいでませの会

新年会



新年を祝って出雲空港ホテルにて、「おいでませの会」会員とボランティアのみなさんで新年会を開催しました。アトラクションには「金太郎の家」の「木曜会」のみなさんによる相撲甚句、日本舞踊有志の会のみなさんの踊り、「くにびき健康福会」のラインダンスなど盛りだくさんのお楽しみに笑顔があふれていました。今年も元気で一年過ごしましょうと会を締めくくりました。

1/27
(火)

専門部研修

(稗原コミセン視察研修)

荘原コミセンの自主企画(コミセン事業)を担当していただいている専門部委員さんが、複合施設(コミセン、小学校、幼稚園)となっている出雲市稗原コミセンに施設見学と自主企画事業についての研修に行きました。ユニークな企画をアツと思わせるネーミングで運営されている事業など、興味深く伺いました。来年度の企画に参考になったと思います。



2/11
(水)

第14回三世代交流カローリング大会&軽スポーツ講習会

2月11日(水)斐川第1体育館を会場に「第14回三世代交流カローリング大会&軽スポーツ講習会」を開催しました。当日はたくさんの参加があり、三世代の交流を深めました。また、同日「荘原地区健康づくりの会」主催の軽スポーツ講習会では、フライングディスク、キャッチザスティック、RDチャレンジ、ミニボウリングをスポーツ推進委員さんから指導を受け、ニュースポーツにチャレンジしました。参加者全員に民生委員、更生保護女性会、やまももの会のみなさんによる豚汁が振舞われました。



こどもの部優勝
パンライイ チーム

一般の部優勝
土曜会 チーム



フライングディスク



キャッチザスティック



RDチャレンジ

主催 荘原地区青少年育成協議会・荘原コミュニティセンター
共催 荘原小学校PTA・荘原地区健康づくりの会
荘原地区社会福祉協議会・やまももの会
荘原地区更生保護女性会
後援 荘原カローリング教室

1/28
(水)

ドライブレコーダー運用開始式

荘原コミセン車にドライブレコーダーが取り付けられました。子どもと女性に対する安全対策のためです。1月28日(水)出雲警察署でドライブレコーダーの取り付けを兼ねた「運用開始式」がありました。

ドライブレコーダー



2/14
(土)

ミニ講演会 & 雑巾づくり



2月27日(金)古布を裁断したものを「金太郎の家」に届けました。

出雲市社会福祉協議会 事務局長の川瀬英氏に地域福祉についてお話をいただきました。ご近所の方による認知症の方の見守りがなにより大切で、また家族も顔を見て話をゆっくり聞き、否定をしないことでお互いが気持ちよく過ごせる環境づくりがかかせないこと等々、なかなかできにくいけれどもお互いに相手の気持ちを汲んだりしてストレスをためないように地域のお互い様の気持ちを持つことが必要だと思いました。

女性クラブ
「やまももの会」
(環境福祉部)

お知らせ

*やまももの会

街中カフェ

喫茶 おいでませ オープン

4月9日(木) 初回
午前10:00 ~ 12:00
毎月第2・4・6日 午前10時~12時
※: 庄原コメン セン かいでまかせ館
喫茶代 一人 300円
コーヒー、お茶、お菓子

4月から「喫茶 おいでませ」をオープンします!!
お友達とおしゃべりしながら楽しいひとときを過ごしませんか。
どなたでもお気軽にお立ち寄りください。
スタッフ一同お待ちしております。

主催 庄原コミュニティセンター
女性クラブ やまももの会
お問い合わせ: 庄原コミュニティセンター
0853-72-4600

お問合せは庄原コミュニティセンター
☎72-4600

*平成27年度庄原コミュニティセンター 団体育成補助金募集のご案内

～庄原地区の元気な団体を応援します!～

- 対象/地域の事業及び活動を行う庄原地区の団体、グループ(営利を目的としない)を募集します。
- 目的/各団体グループ育成支援により、地域の活性化につなげる
- 助成額/2万円程度(1団体)5団体まで
- 締切/3月31日(火)

ありがとうございます

庄原地区青少年育成協議会

庄原地区「子どもの安全を守る会」では青
色防犯パトロール、見守り隊、あいさつ運
動に各団体から参加いただいております。
1年間大変お世話になりました。

ご寄付御礼

香典返し 金一封

糸原祐子 様(幸町自治会)

岩谷英男 様(新橋自治会)

今岡弘吉 様(中瀬自治会)

杉原康泰 様(八雲西自治会)

皆様からお寄せいただきましたお志は、
庄原地区社会福祉協議会に活用させていただきます。誠にありがとうございました。